

山陽小野田市自治基本条例（抜粋）

（目的）

第1条 この条例は、山陽小野田市における市民自治の基本理念を明らかにし、市政運営の基本的事項を定めることにより、市民が主役のまちづくりの実現を図ることを目的とします。

（この条例の位置づけ）

第4条 この条例は、市政運営の最も尊重すべき規範であり、他の条例又は規則の制定又は改廃に当たっては、この条例の趣旨を生かさなければなりません。

（市長の責務）

第11条 市長は、民主的で公平かつ公正な行政運営を図るよう努めなければなりません。

2 市長は、市民が市政に関する諸活動に参加できるよう知る権利及び参加する権利を保障しなければなりません。

3 市長は、具体的な目標を掲げた政策公約を公表し、その達成状況を公表するものとします。

（広報広聴機能の強化）

第21条 市は、市民の市政に参画する権利及び行政情報を知る権利を保障するため、行政情報の提供及び市民の意見、要望等を聞く場を設けます。

（情報の公開）

第23条 市及び議会は、市民が行政情報を知る権利を保障するとともに、その保有する情報は法令により制限される場合を除いて、公開しなければなりません。

2 市及び議会は、市政に関する意思決定過程の情報を市民に分かりやすく、積極的に明らかにしなければなりません。

3 市は、審議会、協議会等の附属機関及びこれに類するもの(第28条において「審議会等」という。)の会議を原則として公開しなければなりません。

まちづくり指標（東海市総合計画より）

項目		算出の式	2019年度 （平成31年度）	2020年度 （令和2年度）	2021年度 （令和3年度）
第1章 健康・福祉・子育て					
1	健康寿命(男性)	厚生労働省研究班の指針に基づき、人口、死亡数、不健康割合の分母、不健康割合の分子を使用して算出。現状値の78.55歳(男性)及び82.77歳(女性)は、人口(平成21年度から23年度までの合計)、死亡数(平成21年度から23年度までの合計)、不健康割合の分母(平成22年度の人口)、不健康割合の分子(平成22年度の要介護2～5の認定者数)を使用	78.55歳	79	80
2	健康寿命(女性)		82.77歳	83	84
3	健康づくりの取り組みをしている人の割合	市民アンケートで「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	49.9%	53	56
4	市内の施設や環境が健康づくりに取り組みやすいと感じている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	59.6%	62	65
5	安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	66.3%	68.4	70
6	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせると思う人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	61.9%	65	67
7	高齢者のサービスなどが充実していると感じている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	53.4%	56	60
8	社会で障害者が理解されていると思う人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	48.7%	50	53.7
9	障害者の福祉サービスが整っていると思う人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	48.8%	50	55
10	障害者やその家族からの相談を支援する体制が整っていると思う人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	45.3%	48.9	51
11	子育てがしやすいまちであると感じている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	64.9%	68	70
12	地域で子どもを育む活動をしたことのある大人や若者の割合	市民アンケートで「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	23.0%	25	30
13	児童館従来館者数	児童館の年間延べ利用者数	134,711人/年	137,000	140,000
第2章 人づくり・心そだて					
14	不登校の児童生徒の割合	1年間に連続又は継続して30日以上欠席した児童生徒のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にある児童生徒(病気や経済的理由などによる者を除く)の数/児童生徒の総数×100	1.4%	1.2	1.0
15	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	児童生徒アンケートで「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100	83.4%	85	88
16	地域の人で学校教育に関わった人の数	1年間に、学校主催の行事など(地域主催のイベント、PTA活動などは除く)の授業での外部講師や部活の指導者などとして、学校教育に関わった地域の人々の数。	2,675人/年	2,800	3,000
17	子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分にできていると思う人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	59.0%	62	65
18	家庭で安らいでいると感じている青少年の割合	【児童生徒アンケートで「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した中学生の数+市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した青少年(16歳～29歳)の数】/【児童生徒アンケート回答総数(中学生)+市民アンケート回答総数(16歳～29歳)】×100	84.5%	87	90
19	青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合	市民アンケートで「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	4.4%	5.2	7.8
20	この1年で人に親切にしたことのある人の割合	市民アンケートで「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	78.3%	80	85
21	生涯学習を行っている人の割合	市民アンケートで「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	32.8%	35	40
22	市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数	過去1年間の市民体育館、学校プール、温水プール、都市公園・運動公園の運動施設、学校体育施設、健康ふれあい交流館トレーニング室の利用者総数(延べ人数)/人口	6.4回/人・年	7	8
23	スポーツを実践している人の割合	市民アンケートで「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	51.1%	55	58
24	文化・芸術活動を行っている人の割合	市民アンケート「生涯学習活動を行っている」で「はい」と回答した人のうち、「趣味」、「娯楽」、「教養」、「伝統文化」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	19.6%	22	25
25	郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	47.6%	50	52.5
26	15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承しているグループに所属している人の割合	15～30歳の若者で伝統文化を継承しているグループに所属している人の数/15～30歳の人口×100	0.97%	1.1	1.5